

# 富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動 応援F『愛称：群馬の絹遺産』



格付： **C + 3**



群馬関連企業の株式と世界の債券に投資を行う投資信託です。

**属性** 投資信託

**対象** 日本株式と世界債券

**利回り** -3.16%

## 概要

日本株式（群馬関連企業）と世界債券へ分散投資することにより、利息・配当収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指す。なお、日本株式と世界債券の投資配分は、それぞれ概ね50%程度。1、4、7、10月決算。

## リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	USD ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： 大和住銀投信投資顧問株式会社

Web: <http://www.daiwasbi.co.jp/index.html>

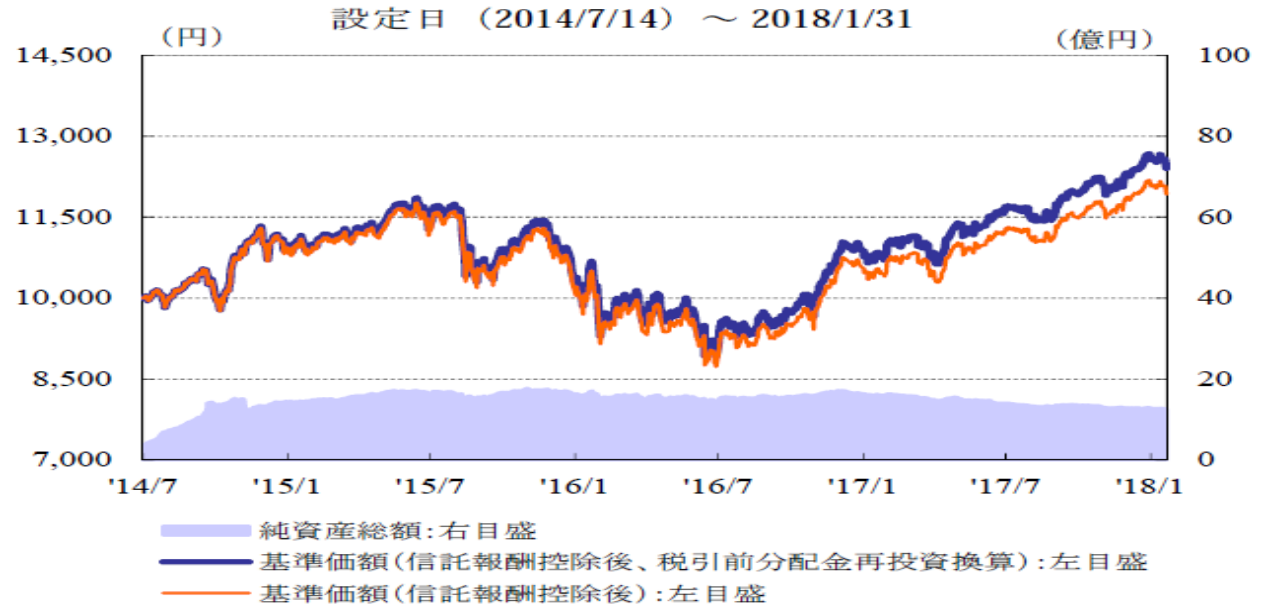
所在地： 東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

霞が関コモンゲート西館

## Summary

1月の日本株式相場は、世界景気の拡大期待や堅調な海外株式動向から引き続き上昇したものの、対米ドルで円高の動きが強まったことから、月末にかけて弱含んだ。円は対米ドルでは上昇となっているが、欧州や新興国の景気回復を受けて、他通貨対比では依然円安である。米国対比で割安なバリュエーション（投資価値評価）や、欧州対比での円安を支えた優位な業績動向は続いており、日銀による緩和政策の継続や人員不足による賃金上昇の流れが見えてくれば、一段の上昇が見込めるとの見方を示している。一方、先進国の債券については、1月の主要国債券相場は大きく下落し金利は上昇する展開に。2017年12月末の米税制改革の成立から米国でインフレ率が高まるとの思惑が強まったことなどから、主要国債券相場は大きく下落した。また、1月の新興国の債券相場では、主要国の金利上昇を受けて金利が上昇する国が見られた一方、市場のリスク選好姿勢の高まりを背景に金利が低下する新興国も見られるなど、まちまちな展開となっている。以上を踏まえ、リターン面を「C+」、リスクを「3」と判断する。

## ◆ 基準価額・純資産総額の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。